

CDBB 資産情報要件(AIR)目次の概略

[CDBB International BIM Toolkit](#)

エグゼクティブサマリー

施設管理プロセスは、組織内で既に実施されている可能性が高いが、そのプロセスが依存する情報要求事項が特定されるような方法で構造化されていない可能性がある。資産情報要求事項（AIR）を構造化する際に考慮すべき特定の項目を強調することを意図している。

既存の情報管理プロセスを資産情報要求事項（AIR）テンプレートに照合／参照することで、組織は、その集団的な情報ニーズを評価することができる。

各アポイントメントに関連するアセット情報要件（AIR）のみが、交換情報要件（EIR）を介して、アポイントメント／契約文書に統合される。

1章：維持可能な資産（Maintainable assets）は、資産のライフサイクルを通じてメンテナンスが必要となる要素を特定することを目的としたセクションである。

1.1 維持可能な資産の一覧	効率的に運用・維持するために特定の情報を必要とする資産の一覧を示す 必要な情報だけを手し、資産情報モデル（AIM）に余計なデータが含まれないように、メンテナンスが必要な資産/コンポーネントだけを特定する
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

2章：情報要求事項（Information requirements）は、組織の戦略的目標を達成するために不可欠な関連情報の概要を示すセクションである。首尾一貫した資産情報モデル（AIM）の提供を確実にするために、資産の引渡し段階における具体的な要件を記述する。

2.1 データ構造	運用管理システムをサポートし、統合するための情報交換／資産情報モデル（AIM）のデータ構造を特定 特定された資産情報はCOBie形式を使用して情報モデルに組み込む
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------

2.2 資産情報要件 (AIR)	資産運用活動をサポートするために組織が必要とする情報と受け入れ基準を規定
2.2.1 メンテナンス	資産のライフサイクル全体を通じて、修繕を実施するための特定の構造化された情報要件と情報コンテナを設定 プロアクティブメンテナンス (計画保全) とリアクティブメンテナンス (事後保全) の両方についてCOBieエクスポートの一部となるように記述
2.2.2 サステナビリティ	サステナビリティ経営の目標達成状況をモニタリングする情報要件と情報コンテナを設定
2.2.3 資産運用の効率性	資産運用コストの削減/最小化目標の進捗状況をベンチマークする情報と情報コンテナを設定 資産が意図/仕様通りに機能することの確認 (ソフトランディング) や運用コストの予実管理も含む

3章：情報標準、作成方法、手順 (Information standards, information production methods and procedures) は、前半は、AIRに関する情報標準 (情報コンテナが準拠すべき基準) を規定し、後半は情報の作成方法、手順の目的を定義するセクションである。

3.1 情報標準	情報コンテナが準拠すべき標準を定義
3.1.1 情報管理基準	プロジェクトで使用する規格や標準をレビューやバージョンも含めて列挙
3.1.2 資産の識別	各資産に対する固有の識別コードの命名規則について説明
3.1.3 資産情報モデル (AIM) の成果物	AIMの引き渡しに必要なものを示し、プロジェクト情報モデル (PIM) をAIMに統合するために必要な情報について説明

3.1.4 情報の分類	情報コンテナおよびモデル要素の識別を支援するために採用する情報分類基準を説明
3.2 情報制作の方法と手順	責任、ワークフロー、承認プロセスを含めた情報の作成方法と手順を決定する 責任、ワークフロー、承認プロセスが含まれる
3.2.1 ソフトランディング	ソフトランディング・アプローチ（性能仕様を満たしていることを確認するための稼働後の評価）について説明